

本日は、定例記者会見を開催いたしましたところ、皆様にはご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、令和6年度12月補正予算（案）につきまして、説明いたします。

令和6年度12月補正予算（案）の概要1ページをご覧ください。

一般会計については、補正額8億8,597万3千円を追加し、補正後の予算総額は183億7,425万1千円であります。

これは、対前年度同期との比較で、15.0%の増であります。

一般会計、特別会計等を合わせました今回の補正額は、8億9,025万2千円の追加で、補正後の総額は、311億7,072万3千円であります。

それでは、一般会計の概要について、説明いたします。

2ページをご覧ください。

まず、民生費です。

「健康福祉センター1階低層棟改修事業費」4億4,951万5千円は、健康福祉センター1階低層棟の改修工事を行うものであります。

次に、衛生費です。

「予防接種事業費」3,615万1千円は、子宮頸がんワクチンの接種件数の増加等に対応するため、接種費用を追加で計上するものであります。

す。

「西部衛生施設組合負担金」4,719万7千円は、不燃物・粗大ごみ処理、し尿処理、廃棄物埋立処分施設等の事務を、3市2町で共同処理する、岡山県西部衛生施設組合に対する負担金ですが、現在建設中である新焼却場の建設負担金等を含むものであります。

次に、教育費です。

「キラリと光る未来プロジェクト事業費」1,079万8千円は、電子黒板設置事業として、小学校体育館や学級増等に対応するため、電子黒板を設置するものであります。

「寄島中学校跡地利活用補助金」1億3,000万円は、寄島中学校跡地利活用の実施事業者である一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブに対し、施設整備費用として、企業版ふるさと寄附金の歳入受け入れ額と同額を補助金として交付するものであります。

以上、一般会計の概要について説明いたしました。

次に、特別会計及び企業会計の概要について、説明いたします。

今回の補正予算では、義務的経費の不足分などについて、「国民健康保険特別会計」、「後期高齢者医療特別会計」「介護保険特別会計」、「畑地かんがい給水事業特別会計」の4つの特別会計と、「水道事業会計」と「下水道事業会計」の2つの企業会計で予算計上をしております。

以上が、12月補正予算（案）の概要であります。

それでは12月補正予算（案）の主な事業の詳細について説明いたします。

浅口市長定例記者会見配布資料の1ページをご覧ください。

健康福祉センターの有効活用についてであります。

コロナ禍により、長年使用を停止しておりました健康福祉センター浴場については、機械設備の老朽化や、新ごみ焼却場熱利用施設が稼働予定であること等を総合的に勘案した結果、廃止することとし、その後の有効活用方法について、検討を進めてまいりました。検討にあたり、昨年市民アンケートを実施したところ、子育て施設の整備に関する回答が多くありました。

現在、市が運営している、地域子育て支援拠点事業である「つどいの広場のびっ子」は、鴨方公民館を使用していますが、手狭なため、おおむね3歳児以下の利用に限られています。さらに、トイレ等の設備も古く、老朽化も進んでいることから、未就園児を持つ保護者の皆様や親子クラブからも利用年齢の拡充を求める声や、新たな子どもの居場所についての要望が寄せられていました。

こうしたことから、健康福祉センター低層棟を改修し、地域子育て支援拠点事業を行う施設として整備することといたしました。

整備内容といたしましては、対象を未就学児まで拡充し、お子さまが安全に遊ぶことができるよう年齢階層ごとにスペースを分け、それぞれの年齢に適応した運動遊具や知育玩具、絵本等を整備します。さらに、児童用トイレや授乳室を整備し、充実した施設として改修いたします。

このほか、北側の中庭部分にはインクルーシブ遊具を設置し、体に障害のある子もいない子も一緒に遊べる空間を整備するほか、浅口市で子育てする親子の交流の場や休憩、そして、持ち込みによる飲食可能なスペースも整備いたします。

なお、このスペースは冷暖房完備のため、特に夏場にはお子様連れの皆様の「涼み処」としても利用いただく予定としております。

併せて、小さいお子さま連れの皆様が、スムーズに施設に来ていただけるよう、南玄関付近を利用者の駐車場として整備いたします。

また、健康福祉センターは避難所として指定されていることから、災害発生時には、避難所として安心安全に利用できるよう、非常用発電機の更新等も行います。

事業費総額としましては、低層棟の改修工事費だけでなく、既存設備の撤去費、駐車場整備費、並びに非常用発電設備などの、避難所設備整備費等を含め、全体で約4億5千万円を12月補正予算(案)に計上し、令和7年7月の完成を見込んでおります。

この健康福祉センター低層棟の改修により、浅口市の地域子育て支援拠点事業を行う施設が整備され、浅口市が子育て王国としてより子育てしやすいまちとなり皆様に喜んでいただけることを期待しております。

次に、寄島中学校跡地利活用補助金についてであります。

市内スポーツ施設の充実を目的として、令和7年3月末で閉校となる寄島中学校の施設及び敷地を利活用すべく、本年7月に一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブ様を事業実施事業者として選定しました。

市といたしましても、ファジアーノ岡山様が持つノウハウやリソースを活かしたスポーツ環境の向上、地域課題の解決が期待できる本事業を「企業版ふるさと納税制度」を活用し、支援していくこととしており、現在寄附の受付をしているところです。

この企業版ふるさと納税制度で、企業の皆様からいただいたご寄附を原資とする補助金について、12月補正予算(案)に計上いたします。

なお、工事の進捗につきましては、現在、グラウンドの人工芝化のための工事を行っており、令和7年2月中の完成を目指しているとのことであります。

完成後には、本事業が市民皆様のスポーツに親しむ機会の創出と、交流人口の増加による地域の活性化につながるものと考えております。

次に、主な事業の進捗状況などについて説明いたします。

3ページをご覧ください。

寄島中学校感謝祭の開催についてであります。

10月25日（金）に「寄島中学校感謝祭」を開催しました。寄島中学校は1947年の開校以来、77年間にわたり多くの卒業生を輩出してきました。その歴史ある寄島中学校も今年度末の令和7年3月で閉校になります。

そこで、最後の卒業生となる中学校3年生が、今までお世話になった寄島中学校や周りの方々に感謝の気持ちを込めて、感謝祭を行いました。寄島小学校の児童や寄島こども園の園児、保護者や学校運営協議会の皆さんを招待し、中学校3年生の生徒たちが中心となり、五つの班に分かれて、校舎を回るスタンプラリーや〇×クイズ、記念品となる「みつやまんキーホルダー」作りなどのブースを開きました。

中学校3年生の皆さんが後輩、地域の方々のことを思い、感謝の気持ちを持ちながら取り組む姿に大変感動いたしました。

参加された皆さんにとっても思い出に残る感慨深い時間となりました。

4ページをご覧ください。

国立天文台188cm反射望遠鏡の利用再開についてであります。

浅口市のシンボルである、国立天文台188cm反射望遠鏡のドームスリットが令和4年9月に故障し、観測を停止していましたが、本年9月から

始めた改修工事も年内には終了し、来年の春には観測や見学が再開できる見込みとなりました。

1960年の開所以来、長きにわたって市民皆様に親しまれてきた天文台が再び動き始めます。「天文のまち あさくち」のシンボルとして、世界トップレベルの活躍を期待しております。

そして、これからも京都大学3.8メートル「せいめい望遠鏡」とともに、日本の天文学の聖地として、市外からも多くの方に愛され、訪れていただけるよう取り組んでまいります。

5ページをご覧ください。

心身障害者医療費給付事業における対象拡大等についてであります。

浅口市では、重度心身障害者への医療費給付を実施していますが、このたび、岡山県において、その費用の一部を補助する「岡山県心身障害者医療費公費負担制度」が改正されることに伴い、令和7年4月1日より医療費給付の対象者に、精神障害者を追加することといたしました。

新しく対象となるのは、精神障害者保健福祉手帳1級、及び自立支援医療受給者証の両方を所持している方となります。

これにより、精神障害者の一般科への通院、及び入院にかかる医療費が、現在3割負担のところ、1割負担になるほか、精神疾患による入院にかかる医療費についても、同じく現在3割負担のところ、1割

負担となります。

今回の改正により、精神障害者の安定的な地域生活への移行・定着の促進、及び精神疾患等に対する適切な受診を促し、再発や重症化等の防止を図りたいと考えております。

7ページをご覧ください。

金光地区の燃えるごみ・可燃性粗大ごみの搬入先変更についてであります。

金光地区の燃えるごみ・可燃性粗大ごみの搬入先が、令和6年12月1日から現在の倉敷市玉島^{みちごえ}道越にある「倉敷西部清掃施設組合清掃工場」から、倉敷市玉島^{おとしま}乙島に新設される「倉敷西部クリーンセンター」に変更になります。

「倉敷西部クリーンセンター」への搬入は、令和8年3月31日までを予定しており、令和8年4月1日からは、里庄町に新設される「井笠広域里庄清掃工場（仮称）」に変更となります。

なお、ごみの出し方、焼却施設への搬入日、地区ごみステーションの収集日に変更はありません。

ご迷惑をお掛けしますが、変更時にはその都度、市広報紙、地区回覧、ホームページ等でお知らせいたします。

8ページをご覧ください。

障害者週間イベントについてであります。

毎年12月3日から9日までの1週間は、「障害者週間」です。この期間にあわせ、障害に関する啓発のためのイベントを健康福祉センターにおいて開催します。12月3日から9日までの期間で、障害者の作品や施設紹介などの展示を行うほか、12月8日（日）には、講演会、福祉プチマルシェ、福祉ネイル体験などを実施します。

今回のイベントは、浅口市障害者自立支援協議会が主催するもので、当事者・家族会や福祉事業所等と企画運営などについて協議しながら進めてまいりました。

これからも、障害の有無に関わらず、すべての市民皆様が支え合い、誰もが住み慣れたまちで安心して楽しく暮らせる浅口市を目指してまいります。

11ページをご覧ください。

第18回浅口市マラソン大会についてであります。

市民の健康と体力づくりの意識を高めるとともに、参加者相互の親睦を深める機会として、12月8日（日）に、三ツ山スポーツ公園周辺で、「第18回浅口市マラソン大会」を開催します。

今大会は合計1,045人のランナーが出場します。本年度より干拓地内を中心としたコースに変更し、マラソン専用区間を大幅に設けたことで、

走りやすく、沿道での応援もしやすくなっています。今年は特に、親子の部の参加者が多くなっています。子どもたちが元気に走る姿に大きな声援をお願いしたいと思います。

また、特産品を用意している10kmコースには、大阪府や島根県など、遠方からもお申込みをいただいております。大会終了後も「浅口市特産品」で浅口の魅力を堪能していただけることと思います。このほか、参加者全員に豚汁も用意してお待ちしております。

市民の皆様におかれましては、頑張るランナーに温かい応援をよろしく願います。

最後に13ページをご覧ください。

よりしま海と魚の祭典についてであります。

浅口市の冬の恒例行事であります「よりしま海と魚の祭典」を今年度も開催する予定です。開催日につきましては、昨年度の実行委員会において、2月第1日曜日と決定されていることから、今年度は令和7年2月2日（日）を予定しております。

なお、事業内容等の詳細につきましては、明日、開催されます実行委員会において、協議、決定される予定です。

寄島の栄養豊富な漁場で育つ「濃厚でクリーミーな味わい」と「ぷりぷりの弾力」が魅力の「寄島かき」をはじめ、新鮮な魚介類、農産物な

どをお買い求めいただき、浅口をたっぷりと味わっていただきたいと考えております。

私からは以上です。ありがとうございました。